



## 「第3期関西観光・文化振興計画（仮称）」中間案について

令和6年10月12日

広域観光・文化・スポーツ振興局

「第3期関西観光・文化振興計画（仮称）」について、有識者や構成府県市の意見を踏まえ、策定を進めており、この度、中間案を取りまとめましたので、御報告いたします。

### 記

#### 1. 趣旨

持続可能な観光・文化の振興を図るため、令和7（2025）年の大阪・関西万博の開催を一過性のものとせず、新たなステージに向けた成長の好機と捉え、関西が一丸となって取り組む観光振興及び文化振興の戦略を示すため、「第3期関西観光・文化振興計画（仮称）」を策定する。

##### 【策定の背景】

- ・コロナ禍に策定した「第2期関西観光・文化振興計画（計画期間：令和4年4月～令和9年3月）」は、社会・経済情勢の変化に起因する新たな課題が生じた場合には、見直しを行うこととしていた。
- ・観光、文化分野ともコロナ禍の影響から急速に回復する一方で、外国人旅行者の一部地域への集中といった新たな課題が生じていることから、計画の終期を待たずに、新しく計画を策定するもの。

#### 2. 計画期間

令和7（2025）年4月から令和12（2030）年3月までの5年間

#### 3. 計画の視点

- ① 関西各地の多様な魅力を活かした広域周遊観光の更なる推進
- ② 地域と調和した持続可能な観光の実現
- ③ 関西圏の文化芸術の一大発信拠点化や文化芸術を活かした新ビジネスの創出
- ④ 文化の保存から活用への持続可能な好循環の実現

#### 4. 計画の内容

別紙1（概要）及び別紙2（本文）のとおり

#### 5. 今後のスケジュール（予定）

＜中間案＞

令和6年11月～ パブリックコメント

＜最終案＞

令和7年1月 広域連合委員会

2月 広域連合議会全員協議会

3月 広域連合議会

(参考)「関西観光・文化振興計画」検討委員会委員

(五十音順、敬称略)

大浦 由美	関西広域連合広域計画等推進委員会委員 和歌山大学観光学部長
岡部 ジェム	関西エアポート株式会社マーケティング部部长
川森 博司	神戸女子大学文学部教授
北村 豪	公益社団法人関西経済連合会都市・観光・文化委員会副委員長 株式会社 JTB 執行役員ツーリズム事業本部西日本エリア広域代表 大阪 IR 推進担当、大阪・関西万博推進担当
木ノ下 智恵子	大阪大学 21 世紀懐徳堂准教授 アートプロデューサー
坂上 英彦	関西広域連合広域計画等推進委員会委員 嵯峨美術大学名誉教授他
東井 芳隆	一般財団法人関西観光本部専務理事
橋爪 紳也 (副座長)	大阪府特別顧問、大阪市特別顧問 大阪公立大学研究推進機構特別教授、観光産業戦略研究所所長 京阪ホールディングス株式会社社外取締役
藤野 一夫 (座長)	芸術文化観光専門職大学副学長 神戸大学名誉教授
横井 理夫	文化庁文化戦略官兼政策課長